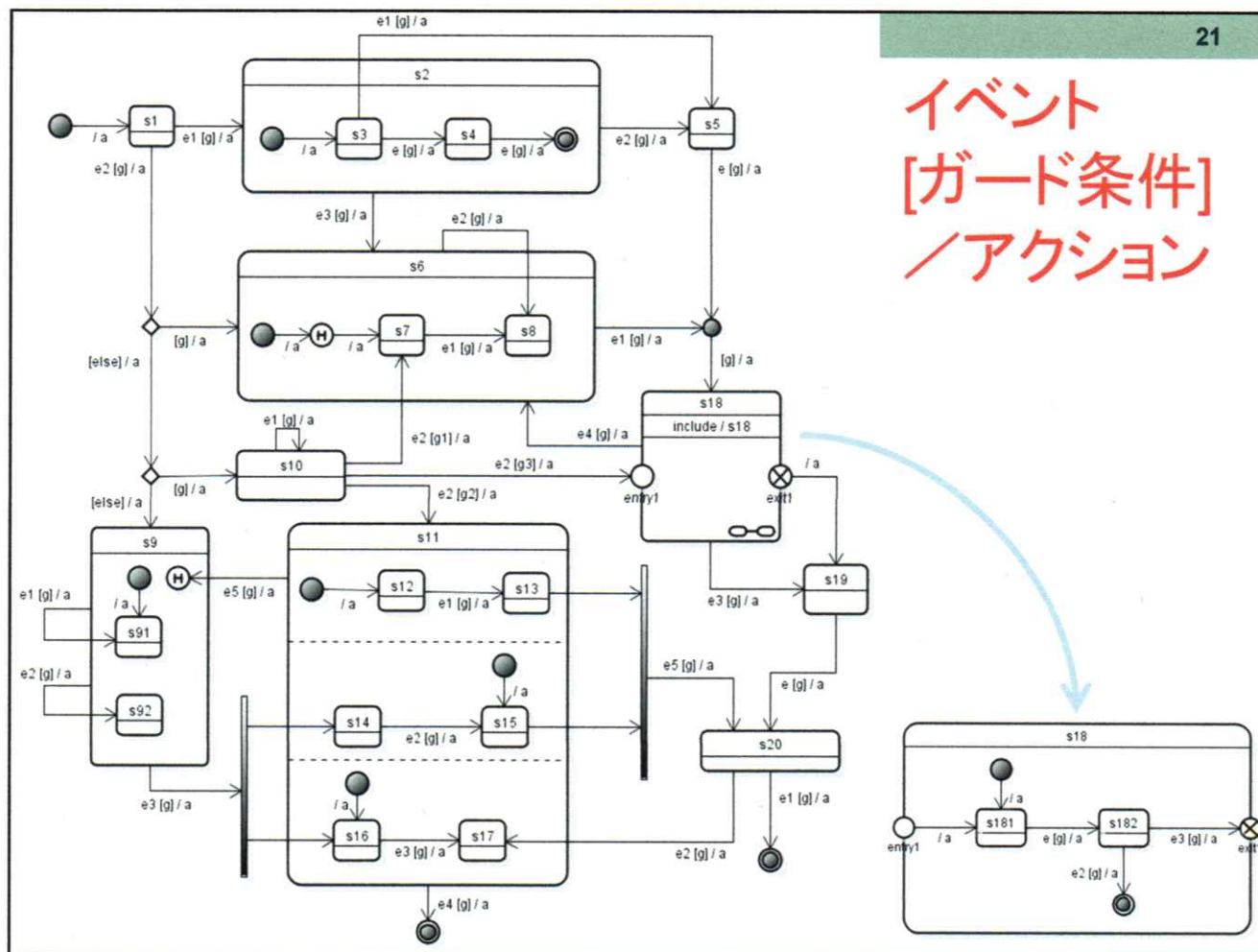


イベント [ガード条件] /アクション



一般に、遷移には、イベントとガードとアクションがそれぞれ0個または1個設定できます。ですが、遷移が、どの状態または疑似状態を起点、終点とするかによって、イベントが設定できないところ、ガードが設定できないところ、があります。

この状態マシン図は、それを説明するために、設定できるところは全部設定してみた図です。e[g]/aは全部を設定できるところ、[g]/aはガードとアクションだけ設定できるところ、/aはアクションだけを設定できるところです。以下のことがわかります。

開始疑似状態を起点とし履歴疑似状態を終点とする遷移にアクションを設定できます。
履歴疑似状態を起点とする遷移にアクションを設定できます。

開始疑似状態を起点とする遷移にはイベントもガードも設定できません。
ジョイン疑似状態を起点とする遷移にはイベントとガードを設定できます。
選択疑似状態を起点とする遷移にはガードを設定できます。というか設定するのが普通。
ジャンクション疑似状態を起点とする遷移にはガードを設定できます。

親の図の退場点を起点とする遷移にはイベントもガードも設定できません。
子の図の入場点を起点とする遷移にはイベントもガードも設定できません。

一般に状態を起点とする遷移にはイベントとガードが設定できますが、状態を起点としジョイン疑似状態を終点とする遷移にはイベントもガードも設定できません。

なお、フォーク疑似状態を起点とする複数の遷移と、ジョイン疑似状態を終点とする複数の遷移には、イベントもガードも設定できないとUML仕様で記述がありますが、アクションが設定できるとも設定できないとも記述がありません。IBM Rational Rhapsody ではサポートしていないので、この図では除外してあります。必要性少ないでしょう。